

第 100 回記念二科福岡巡回展



▲福岡市美術館外観



▲会場入り口



▲前夜祭



▲西日本新聞社賞表彰



▲「織田廣喜」特別展示



▲記念講演

2016年4月19日(火)～4月24日(日)福岡市美術館(全室)にて福岡巡回展を開催しました。4部門(絵画・彫刻・デザイン・写真)全国巡回作品と地元入選作品合わせて約630点を展示し、3,710人の方に御入場いただきました。二科福岡支部、二科山口支部、二科大分支部、二科佐賀支部、二科長崎支部の協力のもと、無事終了することができました。

4月18日の前夜祭は絵画部 香川猛理事、デザイン部 今村昭秀理事長をお迎えし、共同主催である西日本新聞社・テレビ西日本の方々、元田川市美術館長 松尾孝司氏、福岡市美術館長 錦織亮介氏をはじめ、今回は、100回を記念した特別展示や講演会に御協力いただいた嘉麻市立織田廣喜美術館の方々、『伝説の洋画家たち二科100年展』でお世話になった石橋美術館の方々に御出席いただき、親睦と交流を深めました。当巡回展のみの西日本新聞社賞を選考しこの前夜祭で表彰を行っていますが、今回絵画部は馬場博昭(福岡市)、角加代子(久留米市)、岡村宏保(山口県)の3氏、デザイン部は星先こずえ氏(大野城市)、写真部は武田新一氏(福岡市)が選出されました。今回100回を記念して、多くの関連事業を開催しました。織田廣喜作品7点を嘉麻市立織田廣喜美術館のご協力により特別展示、また最終日には元田川市美術館長 松尾孝司氏、織田廣喜美術館の有江俊哉氏による対談形式での講演会を開催、亡き織田廣喜の偉業を振り返ることができました。



▲色紙抽選プレゼント



▲二科展バスツアー参加者



▲ギャラリートーク

また、例年の色紙抽選会に加え協賛者から提供いただいた豪華景品のプレゼント等も行い会場を盛り上げました。

西日本新聞旅行の企画で二科展ツアーを行い63名の方に参加していただいたり、写真部による入場者記念撮影も大変人気で109名の希望者を撮影、その場で写真を手渡すことができたのも今回の新しい試みでした。

また例年開催のギャラリートークは、絵画部は香川猛理事、デザイン部は今村昭秀理事長、写真部は那須昭典、徳永美奈子会員によるトークが行われ貴重なお話を聞くことができました。

今回開催の数日前より発生した熊本震災への募金活動を会場で行いましたが、多くの方の暖かな心に感謝の意を表したいと思います。

○4部門会場展示に関するコラム記事

《絵画部》

広い特別展示室Aと市民ギャラリーA、D室を使って、巡回作品、地元作品をほぼ全作品展示しました。2点入選や受賞作など注目されている作品を中心に、見やすく解りやすい展示を心掛けました。特別展示の織田廣喜先生の作品は御存命中に展示されていた定位置に展示、合計7点制作年等も考慮しながら展示しました。

《彫刻部》

他部門は、会場を年ごとにローテーションしているが、彫刻は例年広い大きな特別展示室の進路のちょうど中間辺りにまとめて展示している。数の多い絵画作品の間にアクセントをつける見やすい構成となった。

《デザイン部》

今回の展示は、市民ギャラリーB・C室になったが、壁面が通しなのでA部門ポスターから鑑賞しやすいように展示しポイントには受賞作を置いた。奥の壁面は地元会員・会友と一般出品者の作品を飾る。中央の衝立面は小型のグラフィック、半立体造形作品で楽しい面を演出、100回記念ポスターは、指定場所であったが有効に活用した。(全作品展示)

《写真部》

会員・会友作品465点、一般公募作品884点、合計1,349点の中から地元作品を中心に240点を厳選し特別展示室Bを使い(入賞・名誉会員作品のブース、福岡県関係のブース、その他の地区に仕分け)展示しました。またジャンルに偏らず展示し来場の皆様に判りやすいよう心掛けました。